

西始良校区コミュニティ協議会だより

あいらニュータウン

向こう三軒両隣、気配り助け合い



くすみん

第21号 令和3年1月15日

発行 西始良校区コミュニティ協議会
始良市西始良一丁目22-3 TEL 0995-73-8415
発行人 会長 前田昇一

あけましておめでとうございます



元気な声とたくさんのお顔を
笑顔を取りもどそう

東自治会
東子ども会 育成会長 畠 中 加代

私達東子ども会の会員は、二十二年名です。毎年、子ども会への入会数も少しずつ減少しています。

そんな中、九月末に「始良市子ども会育成会長研修会」が開かれ、子ども会活動に関して要望や悩み等が話し合われました。その結果、殆どの子ども会が子どもが少なく、多くの活動が出来なくなっているのが現状でした。

今年度は特に、コロナウイルス感染拡大防止のため、夏休みのラジオ体操と一斉作業以外、活動が出来ていません。子ども会だけでなく、地域の方々とふれ合うことで、地域全体に元気な声とたくさんのお顔が生まれるのだと思います。来年度こそは、そういう地域づくりのお手伝いがたくさん出来ることを願っています。

私も一言

西始良ニュータウンだより
に寄せて

西始良小学校 教頭 久木崎 敢

昨年は、楽しみにしていた地域行事が新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、残念ながら中止になるものもありました。しかし、子供たちのために工夫しながら行った七夕灯籠飾りや校区意見紙上発表、登下校時の安全見守りなどに感謝を受けました。こんな時だからこそ学校や地域、保護者が一体となって、知恵を出し合い、汗をかき、力を合わせて子供たちを育てていきたいです。西始良小も学習や行事等、工夫しながら、この状況を乗り越えていきたいと思えます。今後も御協力・御支援をお願いいたします。また、SSVC+(スクールサポートボランティアコーディネータープラス)の事業で、地域の方々には、地域と学校が一つになって子供たちを育てる地域学校協働活動に御協力いただきたいです。詳細は教頭か担当の鶴木孝夫さんに連絡してください。よろしくお願いいたします。

編集後記

昨年度は、二月以降新型コロナウイルス感染症発生でその感染拡大は今年も予断を許さない状況が続いています。

校区コミュニティ協議会も昨年度は、コロナ対策を考慮し規模を縮小したり工夫したりしながら行事を推進して参りました。その中であって夏の花火打ち上げや灯ろう・七夕祭りを実施しました。また、皆様の下に届いていると思いますが「青少年意見発表会」を紙上発表が出来たことは特質すべきことで、児童生徒の発表を堪能して下さい幸いです。

さて、吉屋信子の新年を言祝ぐ句に

「初暦（はつごよみ）

知らぬ月日の 美しく」と詠んでいます。今年も新型コロナウイルス感染症も終息しよい年となるといいですね。

最後に、今年も皆様の温かいご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

(事務局長 岩重郁夫)

年頭のご挨拶



副会長 濱田 健一
会員の皆様、明けましておめでとうございます。

昨年は年明け早々から、未曾有の新型コロナウイルス流行で、心身ともにストレスのたまる一年でした。今年も会員一人一人が細心の注意の中、元気に生活できますよう心掛けたいものです。

昨年、西始良校区コミュニティ協議会では前田昇一会長を中心に、コロナ禍の中でも「楽しく安全安心な街づくり」に心がけて参りました。夏祭りに代わる「七夕・灯籠祭り」と二か所からの「花火大会」は、多くの会員から「心が和んだ」「久しぶりにスカッとした」と、喜びの声が寄せられました。防犯カメラ設置の取り組み、ヤンバルトサカヤステ駆除への対応等、始良市当局との連携も進んでおります。

コロナによる新たな生活様式に慣れながら、今年も全ての会員が、「向こう三軒両隣、気配り助け合い」の心で前進して参りましょう。校区の皆様のご支援・ご協力をお願い申し上げます。